



教育目標 21世紀を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成

**知性**：自ら学び考える生徒 **友愛**：心豊かな生徒 **健康**：健康で実践力のある生徒

## 厳粛かつ感動的な 第14回卒業証書授与式

3月12日(金)10時より、須賀川市中央体育館において令和2年度第74回卒業証書授与式を行いました。先月の福島県沖地震の影響で本校体育館が使用できなくなってしまったため、中央体育館をお借りして行いましたが、この地震と新型コロナウイルスの影響で、在校生が参加できなかったり、多くの来賓のご列席もなかったりした式となりました。

式では、まず校長から一人一人に卒業証書が授与されましたが、担任の呼名に対して大きな返事で、胸を張って受け取る姿は実に立派でした。また校長式辞では、「東日本大震災から10年、これからの社会に貢献し明るい福島や須賀川の未来を担うためにも、夢を持ち前進する努力をしてほしい」とはなむけの言葉を述べさせていただきました。その後、在校生代表の送辞を●●●●●さんが、卒業生代表の答辞を●●●●●さんが行いましたが、二人とも自分の想いをしっかり伝える感動的な送辞・答辞でした。式歌では、涙をこらえながら「旅立ちの日に」を歌った卒業生の姿が印象的でした。

このように、今年の卒業式は、体育館が使えない困難を乗り越えて、厳粛な中にも感動的な卒業式となりました。卒業された80名の皆さんの今後の活躍を期待しております。



卒業生入場



一人一人に卒業証書授与



校長による式辞



中央体育館での卒業式



●●●●●さんの送辞



●●●●●さんの答辞



式歌「旅立ちの日に」



卒業生退場

## さあ「秀麗な一中生」の伝統を受継ぎ、2・3年生として頑張ろう

これまでこの第一中学校をリードしてきた3年生が卒業してしまい、少し寂しい感がありますが、1・2年生がそれぞれ進級して、今度は中堅学年・最上級生としての役割を果たすこととなります。

ところで、今回の卒業式を行うにあたっては、1・2年生の在校生が分担をして、式場作成や3年生の教室の装飾を行ってくれました。本来ならば在校生も卒業式に参加して、卒業をお祝いするとともに先輩方の立派な姿を目に焼き付けたかったのですが、今回は参加できなかったため、在校生はこれまでに世話になった先輩方の卒業式を成功させようと、一生懸命動いていました。おかげで、いままでとは会場が違っていても、素晴らしい式場となりました。

こんなことから、だんだんと中堅学年・最上級生としての自覚が芽生えてきているようです。

卒業式で在校生代表の●●●●●さんが送辞で述べていましたが、これまで、先輩方が築いてきた第一中学校の伝統をしっかり受け継いで、さらに一中を素晴らしい学校に発展させてほしいと思います。

## 先輩方よろしくお願ひします 同窓会入会式

3月9日(火)4校時、中央体育館において同窓会入会式を行いました。お忙しい中、同窓会長の内藤祥一様にお越しいただき、お祝いの言葉や励ましの言葉を頂きました。その後、新入会員を代表して●●●●さんが、誓いの言葉を述べていました。

須賀川一中の卒業生には、東京オリンピック銅メダリストの円谷幸吉さんをはじめ、各界で活躍している大先輩がたくさんいらっしゃいますが、3年生の皆さんは、須賀川一中の卒業生としての自覚を深め、社会で活躍している先輩方のような人間になりたいと意識を高めたようでした。

本日3年生80名が入会し、同窓会員数は14,168名になりました。



代表誓いのことば ●●●●さん

## あの日を忘れない 東日本大震災を振り返る会

東日本大震災から10年目を迎えた3月11日(木)、中央体育館で「東日本大震災を振り返る会」を開催しました。

まず初めに、校長からこの集会の目的や先の2月13日の福島県沖地震での本校の被害状況、10年前の東日本大震災の須賀川市の被害状況などの話をしたあと、自分の命は自分で守る、命を大切にする、お互い助け合う＝共助の精神などについても話をさせていただきました。

その後、全校生徒及び教職員が1分間の黙とうを行いました。

次に、10年前に本校で勤務をしていた先生からは、当時の本校の被害状況と共に、一小の高学年を受け入れた学校の様子や困難を乗り越えてきた先輩の話をしていただきました。現在のコロナ禍や先の地震での困難を、10年前の先輩方と同じように、みんなで協力し合って乗り越えてほしいと力強いメッセージをいただきました。

さらには生徒会で作成した防災クイズを通して防災について考え、最後に生徒会長が生徒を代表して、誓いの言葉を述べていました。



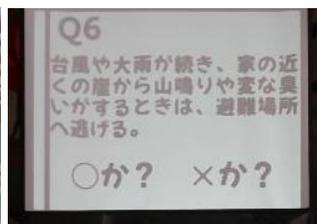
全校生徒での震災を振り返る会



全員で黙とう



池上先生のお話



防災クイズ

## 「夢は見るもの 叶うもの 人の3倍励むもの」3年生への校長講話

卒業を間近に控えた3月8日(月)に、校長による授業を3年の各学級で行いました。題して「第一中学校を巣立っていく君たちへ」という校長講話です。

まず、コロナ禍でいろいろと苦労があった3年生の労をねぎらうとともに、最上級生として第一中学校をリードしてくれたことへの感謝の気持ちを伝えさせていただきました。

また、校長の小学校時代から教師になるまでの話をしながら、いつも話をしていた「夢は見るもの 叶うもの 人の3倍励むもの」の具体的な話をさせていただきました。

3年生の皆さんは真剣に話を聞いてくれましたが、校長になると教室で授業を行うことは少なくなり、久しぶりに教室で子どもたちに語りかけることができ、楽しいひと時を過ごすことができました。

これからも機会を見つけては、校長による授業を行っていきたいと思います。



3年生への校長講話

3月12日(金)に卒業していった3年生が今日は学校にいません。静かな2階の廊下を歩いていて寂しさを実感しました。いつも廊下ですれ違ふと笑顔で「こんにちは」とあいさつをしてくれていた3年生から、「よし!がんばろう」とエネルギーをいただいていた。卒業式当日、「おめでとう」と一言添えて卒業証書を授与させていただきましたが、緊張しながらも胸をはってしっかりと受け取っていた生徒や笑顔で受け取っていた生徒、さらには涙をこらえながら受け取っていた生徒と、それぞれ個性が見られました。でもみんないい表情でした。今年の3年生は私にとっておそらく一生忘れることのない3年生になると思います。新型コロナや地震と困難がありながらも常に前を向いていた素晴らしい3年生でした。こんな生徒を今後も育てていきたいと思っています。みなさんのご活躍を切に願っています。